



The service club to the YMCA
**THE Y'S MEN'S CLUB OF
 TAKARAZUKA**

宝塚ワイズメンズクラブ
 〒 662-0977 西宮市神楽町 5-23
 西宮 YMCA 内
 Tel (0798)35-5987

"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIS EVERY RIGHT

AFFILIATED WITH THE INTERNATION OF Y'S MEN'S CLUBS CHARTERED MAY 22,1988

宝塚ワイズメンズクラブ 2020年10月会報 第382号

主 題 ・ 標 語

国際会長(IP) Jacob Kristensen(デンマーク)

主 題 「価値観、リーダーシップ、エクステンション」 「VALUES, EXTENSION and LEADERSHIP

スローガン 「命の川を信じよう」

アジア太平洋地域会長(AP) David Lua (シンガポール)

主 題 「変化をもたらそう」 Make a difference

スローガン 「奮い立たせよう」

西日本区理事(RD) 古田裕和(京都トウビー)

主 題 Let's do it now!

スローガン “2022 に向け誇りを持って All is well.”

六甲部長 安行英文(さんだ)

主 題 行動に信念を、信念は行動に Believe in what you do. Do what you believe in.

宝塚クラブ会長 若林成幸

主 題 ポジティブに考え、ポジティブに生きる Think and live, positive.

今月のテーマ: BF ブラザーフード資金
 EF エンドメンド基金
 ワイズ用語抜粋の『BF』『EF』を見て意味を確認して、真の国際的奉仕団体としての自覚をしましょう。
 その上で行動しましょう!
 国際・交流事業主任 中堀清哲 (鹿児島)

日 時 : 2020年10月14日(水)18:30
 場 所 : 宝塚市立西公民館
 会 費 : 1000円
 ドライバー 小林康男 多胡葉子
 会 食

《 例 会 》 (19時より)
 開会点鐘 若林成幸会長
 ワイズソング 全 員
 聖書朗読 杉谷 和代
 祈 禱 吉田 明
 ゲスト・ビジター紹介 若林成幸会長
 お話し
 「SDGs 概要」
 講師 湊 秋作 氏

YMCA 報告
 誕生日のお祝い クラブ会長
 ニコニコファンド
 閉会点鐘 若林成幸会長

2020~2021 役員	会長 若林 成幸 直前会長 多胡 葉子 副会長 福田 宏子 書記 武田 寿子 会計 小林 康男 堀江 裕一 会計監査 加藤 光信 吉田 明 連絡主事 谷川 尚 メネット連絡 福田素子 今田 和子 六甲部地域奉仕・環境 多胡 葉子
10月 誕生日	井上えみ(23日)
9 月 実 績	例会出席者数 29名 在籍会員数 22名 出席会員数 19名 出席率 86.4% メイクアップ(内数) 1名 メネット・コメント・孫メット 3名 ズーム参加 1名、 ゲスト・ビジター 6名 例会充足率 132%
	ここにこBOX 3,000円 累 計 14,500円 ファンド(物品販売) 0円 累 計 9,000円

聖句

「わたしは、こう祈ります。知る力と見抜く力とを身に着けて、
あなたがたの愛がますます豊かになり、本当に重要なことを見分けられるように。」
(フィリピの信徒への手紙 1:9-10a)

随想

この聖句は、わたしが現在奉職している福岡女学院看護大学の初代学長であった故・徳永徹先生が、礼拝で何度も看護学生たちに示していた聖句でした。先生はキリスト教学校には珍しい基礎医学者で、今回のコロナ対策でも大きな役割を担っている国立感染症研究所の前身、国立予防衛生研究所で結核部長やエイズ研究センター長等を経て、研究所長まで務められた方でした。もし今ご存命なら、学生やわれわれに語りたいたことが山ほどおありだったろうと想像しますが、惜しくも2年前に逝去されました。

この先生がその研究所長に就任した頃、老朽化した施設を現在地(東京都新宿区:国際医療研究センター病院隣接地)に新築移転する計画が実行段階でした。ところが危険な病原体を扱う研究所を居住地に持ち込むことに危惧を抱いた地元住民から強力な反対運動が起こり、新聞などのマスコミも巻き込み、感情的なもつれもあいまって、問題はこじれにこじれていたそうです。

そこで先生は情報をすべて公開にし、反対運動を行う市民の会に自ら出向いて行って粘り強く話し合うことを始めました。その際「こうして反対しているような人たちこそ、ちゃんと説明すれば、研究所の使命を理解し、逆に支持してくれるに違いないと本気で考えていた」そうです。反対派の人たちを理解し信頼して、とにかく対話を続けていった。こうした所長の姿勢が影響してでしょう、反対はやがて沈静化し、万全の安全対策を施した上で移転は実施されました。それが、今の国立感染症研究所の働きに引き継がれているわけです。

数年前、「あの頃やりあっていた反対住民代表の方とは今でも手紙のやり取りがあるよ」とうかがって驚いたことがあります。その方は最後まで反対だったそうですが、「わたしは徳永さんとは一致しなかったが、ただ、徳永さんの良心への信頼だけはあった」と書いてくれていたそうです。

どのような時代にあっても、わたしたちは「知る力」と「見抜く力」を身に着けなければならないが、それは単に自分たちの利益のためではない。「あなたがたの愛がますます豊かに」なるため、つまり世の中に少しでも愛が豊かになるようにするためだ。それこそ「本当に重要なこと」だ。

先生のエピソードでこの聖句を読み解くと、そういう意味になるかと思います。YMCA やワイズメンの活動の理念とも共通すると思い、紹介させて頂きました。

金田俊郎

【 10月ゲスト・プロフィール 】

湊 秋作 氏

1952 年 和歌山県那智勝浦町に生まれる

都留文科大学文学部初等教育学科卒業 大学でヤマネと自然保護教育に出会う。

小学校教師をしながらヤマネ研究と環境教育と湿地保護を展開。

兵庫教育大学大学院学校教育研究科修了。

小学校教師をしながら京都大学大学院理学研究科にて、理学博士を取得。

学位論文：「ニホンヤマネの繁殖」。

関西学院大学教育学部教授、関西学院大学 SDGs・生物多様性研究センター長

ニホンヤマネ保護研究グループ会長、(一社) アニマルパスウェイと野生生物の会会長

2020 年やまねミュージアム館長を辞す。(一社) ヤマネ・いきもの研究所でヤマネと

普通の生きものたちの研究と保全と教育に取り組み中。

9月第1例会報告

9月9日(水)18時30分会食後、宝塚市西公民館で、メン17名、メネット3名、Zoom 2名、ゲスト7名を迎えて、9月の第一例会が開催された。猛暑が続き、7日の台風10号が九州地方を襲来し多くの被害をもたらした。その後一変して本格的な秋を感じさせるような涼しさが訪れた。

喜ばしいことに、今期二人目、**橋本唯さん(西宮YMCA職員)の入会式**が六甲部 EMC 事業主査:水野雄二メンにより執り行われ、「入会します!」と力強い声が会場に響いた。

六甲部長:安行英文メンにより、アメリカ・ユタ州ブリガム大学に掲げられている“Enterto learn, go forth serve!”(入って学び、出でて奉仕せよ!)という名句が送られた。自己権利ばかりを主張する傾向がある昨今、ワイズメンズクラブの活動より、多くを学び、多くを世の人のために奉仕されることを願った次第である。

その後、「再生可能エネルギーで町づくり～共生事業とは～」と題して、**株式会社宝塚すみれ発電:代表取締役井上保子氏**より、お話を伺った。「自然エネルギーで豊かな日本を創ろう!」また「共生圏を核とした再生エネルギーで地域づくり」という概念のもと、2011年東日本大震災で福島県や外国の原子力発電所等の崩壊で、今後は原子力に依存するのは難題山積と悟り、共同購入等で携わっていた、コープ生活協同組合コープ神戸と共に歩みだした。

日本の農家が抱える高齢化、跡継ぎ不足の問題、耕作放棄地の増加等の現状を踏まえ、「

誰かが動かねば、何も始まらない」という信念のもと、皆でエネルギーを作る…即ち、手作り市民発電所を誕生させ、2012年12月に、11.16kwを生み出し、以後、様々なスタイルの

太陽光発電所、また非常用電源(市民発電所)を設けた。



現在、宝塚すみれ発電所は 6 か所に配置されており、甲子園大学とも連携して共催イベント「食とエネルギーをつなぐ」活動、丹波乳業と「みんなの低温殺菌」の開発。また「ソーラーシェアリング市民農園で何が実現できるか？」を考える際、農地を守る大切さを悟り、自然エネルギーで豊かな日本を創ろうという考えに達



し、2014 年宝塚市に再生可能エネルギーを推進する基本条約が発令された。

この 3 月より、Covid-19 の拡大の影響を受け、経済活動の低迷、学校等の休校、幼稚園、保育所等の休園により、その皺寄せが子供たちに押し寄せ、「こども応援プロジェクト」を

立ち上げ「こども弁当」を1食 ¥100 で販売、瞬くの間に売り切れ状態になった。プリン等のデザート、またキッチン・カー等をダイハツの提供の応援で、子供たちにほんの少しだが、救いの手を差し伸べることができた。

一日も早くコロナ収束が望まれる中、「アフターコロナの世界」を予想する時、今までに経験していないものに挑戦し、「新しい生活様式」を自分たちで決める、即ち今日の積み重ねが明日を創るという自由な発想を持つ。身近なことでは、地域とは何か？ 経済を回すとは？ 何を循環させたいのか？ 卑近な例では、「食・エネルギー・人等を含めどういう未来を描きたいのか？」 仕事をする人を守り、ともに生きていく世界：循環：共生の大切さを熱弁、訴えられ、我々全員が真剣に取り組まなければならない課題であると実感した。

質問のあと、YMCA報告が、今日入会された橋本メンよりされ、9 月の誕生祝に続き、10 月 28 日の「学生のために」とうたい、CharityGolf がワイズメンズクラブの主催で開催予定との報告があった。

最後に、Zoom で参加された京都 Zero クラブの竹園憲二 EMC 主任より、激励の挨拶があり、若林成幸会長の閉会点鐘で 9 月例会の幕を閉じた。

福田宏子

9月第2例会報告

日 時:9 月 16 日(水)18:30~20:30

場 所:西公民館 103 号室(1F)17時

出席予定者:若林、石田、今田、小林、鯖尻、武田、多胡、長尾、福家、吉田、郡家、福田(宏)

議 題:

1. 例会運営

- 10 月は、SDGs に関し、第 1 会合「SDGs 概論」、第 2 会合「学生たちの SDGs 活動」、第 3 会合「SDGs の具体例 ヤマネとアニマルパスウェイ」、第 4 会合「市民生活と SDGs とこれから」の第 1 会合、リモートによる

講演、講師:饗場葉留果氏。

- ・YMCA リーダーによる One Camp 報告あり。
- ・会費:1000 円とする
- ・11 月は SDGs 湊秋作教授は他用のため休止、代替りのゲスト講師を立てる。

(案)西村隆夫(元国際書記・リモート参加可能)または中山迅一氏(神戸ポートクラブ会員)にまなびという子供の塾の運営について講演依頼(武田より)

- ・ 12 月クリスマス例会について検討。宝塚教会にて、礼拝、オルガン演奏、会食が可能か依頼する、お昼または夜間を打診する。(吉田)

2. 各委員会報告

①ジャガイモ販売について小林より受注現況報告(9/14)があった。

じゃがいも:仕入れ 170 箱、受注 161 箱(残 9 箱)

三種混合 :仕入れ 140 箱、受注 132 箱(残 8 箱)

未注文、風早、福田(素)

10 月 10 日入荷の日に宅急便業者に来てもらい即日発送が可能か依頼する。できれば発送票をもらい記入しておく。配達手配を確認する。岡野氏に配送が可能か依頼する。

②市民クリスマスについて若林会長から以下の計画が発表された。

- ・ 10/21 はんしん自立の家…歌う会とダンス会の合同プログラムを収録依頼をする。
- ・ ダカーポと合唱団について
- ・ 10/30 練習日:18 時—20 時、合唱のみ 宝塚西公民館 セミナー室
- ・ 10/31 収録日:12 時—14 時 ふらごこむ 3Fホール(阪急、売布駅から 7 分)、練習と本番
収録時衣装:女性、白ブラウス、男性黒系上着、長ネク
感染予防: 風邪気味の方はご遠慮していただく。マスク着用、安全間隔保持、手指消毒、うがい励行、30 分毎 に休憩する。

申し込み: はがきで参加者に連絡し、出欠はFax、メール、ショートメール、電話などで把握する。

実行委員会: 多胡、若林、長尾、石田

- ・ マハロ 数名で「しあわせ運べるように」を演奏
- ・ ポップン 前年度の映像記録から 2 曲を抜粋
- ・ 幼稚園 検討中
- ・ 田中良和氏の独唱
- ・ 10 月中に収録、11 月に編集 12 月に完成、12 月 18 日～25 日までライブ配信予定

③ブリテン・広報について

- ・ Facebook の効果的な活用方法を探る、宝塚クラブのFaceBookをより活用するために、橋本唯さんにも依頼し、YMCAのニュースなど適宜掲載する。
- ・ 石田ワイズよりクラブのZoomを使用したいとの申し出があり、検討し、承認した。
理由はフラの練習をZoomにて希望する西日本区の会員に行いたい為に宝塚クラブのZoomアドレスを使用したいとの依頼があり、検討し承認した。

3. Week4Waste(YMI ワールド・クリーアップ・プロジェクト)

国際会長 J.クリステンセンが今期のプロジェクトとして標記(あなたの身の回りのゴミを拾うことで、世界をよりグリーンにしよう)を選定。2021 年 4 月 18 日(日)～24 日(土)にゴミ拾い週間の実施を期待。

- ・ 六甲部としてどうするのか方針を出していただいてから、検討することとした。

4. プリテン編集

別紙にて確認

5. その他

- 2022/24 国際議員の推薦の要請があったが、もっと詳しい情報を集めて検討する。
- 10 月 fund 豚肉販売予定

9 月例会データ

	ワイズ	メネ等	ゲスト	計
出席	18	3	6	27
Zoom	1		1	2
計	19	3	7	29

	前月末	9 月	累計
にこにこ	11,500	3,000	14,500
ファンド	9,000	0	9,000

書記 武田寿子

今月の ZOOM 例会参加

宝塚クラブ



鹿児島クラブ

9 月 22 日（火）19 時～20 時 30 分、鹿児島クラブの例会が開催された。

例会場は鹿児島交流会館、同時に ZOOM 例会に宝塚クラブから多胡ワイズ、福田宏子ワイズ、長尾が参加しました。事務例会の様でしたが、ZOOM 例会の難しさを勉強しました。

鹿児島クラブは宝塚クラブと DBC であり ZOOM を通して交流ができることがわかりました。



長尾 亘

神戸ポートクラブ

9月23日(水)18:30～ 神戸ポートクラブの例会が開催された。例会場は神戸 YMCA。同時に ZOOM での参加呼びかけに宝塚クラブからは長尾ワイズ、福田宏子ワイズ、石田ワイズ、多胡の4人が19:00から参加させていただいた。

私はポートクラブの例会に ZOOM での参加は先月と2回目になる。今回の ZOOM での参加は音声もよく、映像もはっきり映し出され、特にスピーカーの話はよく聞き取れた。

参加者用にも配られた資料は ZOOM 参加者にも映像で映し出され、理解するのも容易であった。

スピーカーは元毎日新聞記者の藤井昭彦氏。「9.11 米国同時多発テロのナゾ」と題して新聞記者として関わられた経験での数々のナゾを話されそのナゾに引き込まれ興味深くお聞きした。

最後に「アメリカは怖い国です」とのお言葉が深く心に残りました。居ながらにして神戸ポートのみなさまとともに例会に参加できたことを感謝。



多胡葉子

メンバー紹介

神戸 YMCA の橋本唯と申します。神戸 YMCA に入職し、カレッジ部門にて専門学校日本語学科、国際奉仕センターの担当をしておりました。5年目の今、西宮 YMCA 保育園に異動となり、現在6か月が経ちました。



高知県で過ごした学生時代は、東南アジアに魅了され、インドネシアの農村に足しげく通っていました。また自然好きが高じて、トレイルランニングにはまり、四国や六甲山へ軽装で出かけています。登りは全く走りませんが、下りは解放感に満たされ、急降下しています。

宝塚ワイズメンズクラブの皆様には、留学生のために、いつもご協力いただき感謝いたします。ありがとうございます。これからは、クラブの一員として、人生の大先輩方から、様々なことを学ばせていただきたいと思います。これからどうぞよろしく願いいたします。

橋本 唯



コロナ禍で、私たちは今まで当たり前にあった生活が一変し、新しい形での日常を送り始めています。「いつ終息するのか」を考えるよりも、この環境の中で「どのように工夫すれば活動ができるのか」をそれぞれが模索しているように思います。ここ数か月で、オンライン化が急激に進んだことも、新しい形での日常のひとつでしょう。YMCA では、例年行われている全国リーダー研修会が、現地参加とオンライン参加という新しい取り組みで行われました。15YMCA から計 57 名のリーダーが参加し、全国のリーダーのつながりを感じ、それぞれの想いを共有することができました。仲間とつながったリーダーたちは、よくなっていくためアクションを起こすことでしょう。よりよい未来、輝く未来を創り出すため、私たちも模索することをあきらめず、歩んでまいりたいと思います。

編集紀行コーナー

2020 年初めからコロナの影響で西日本区大会、部会、特に大切な例会を行う事も出来なく、ZOOMミーティングを使った新しいリモート例会が多くなりました。宝塚クラブも 7 月から始めて居ます。そして、外出で空を見ると、「うろこ雲」秋の気配です。ブリテンで季節感を送る事にします。(宝塚の空と阪急電車)



(撮影 長尾 亘)

2020-2021 宝塚ワイズメンズクラブ 事業・特別事業

(宝塚クラブ銀行口座)

銀行名 三菱 UFJ 銀行宝塚中山支店
 口座番号 普通預金 4585836
 口座名 宝塚ワイズメンズクラブ
 (会計 小林康男)

事業委員		(委員長)		
	Y サ・ユース	福田 宏子	武田 寿子	
	地域・環境	多胡 葉子	風早 寿郎	青柳美知子
	EMC	鯖尻 佳子	若林 成幸	
	広報・プレン	長尾 亘	福家 清美	重松 えみり
	交流・ファンド	石田由美子	杉谷 和代	
特別		(委員長)		
事業委員	NGO 連絡協議会	鯖尻 佳子	福家 清美	堀江 裕一
	じゃがいも	小林 康男	吉田 明	風早寿郎
	市民クリスマス	多胡 葉子	長尾 亘	石田由美子
	〃		若林 成幸	